

6月
定例会

安全安心の まちづくり

令和5年第2回定例会は、6月9日から15日までの7日間で行われ、原案のとおり可決・承認・同意しました。

審議の結果、提案された議案17件を

松山 力弥 議長



完成イメージ図

議員からひとこと

現地を視察して、駐車場や広場なども計画されており、防災センターとしての在り方や活用方法も多種多様、柔軟に対応できると思われます。さらに、防災センターの敷地には消防団の格納庫も併設され、より一層、連絡・連携がスムーズに図れます。事の際には、役場の防災対策本部としても使用できる施設となります。防災拠点が増えることで、さらなる防災対策の向上が期待されます。



議員全員で現地を視察

新型コロナウイルスワクチン接種事業
7545万円

安全対策
ブロック塀等撤去費補助金
32万円

地震によるブロック塀などの倒壊による被害防止や避難路の確保を目的として、危険なブロック塀などの撤去を行った場合に、撤去費の一部が補助金として交付されています。

当初予算で2件分の予算が計上されましたが、すでに2件の該当案件があり、今後の対応分として補正計上されました。



補助金の詳細は
こちらから
↓

32万円

地震によるブロック塀などの倒壊による被害防止や避難路の確保を目的として、危険なブロック塀などの撤去を行った場合に、撤去費の一部が補助金として交付されています。

当初予算で2件分の予算が計上されましたが、すでに2件の該当案件があり、今後の対応分として補正計上されました。

DATA

敷地面積：3312.35m²

<防災センター>

延べ床面積：728m²
鉄筋コンクリート造2階建て

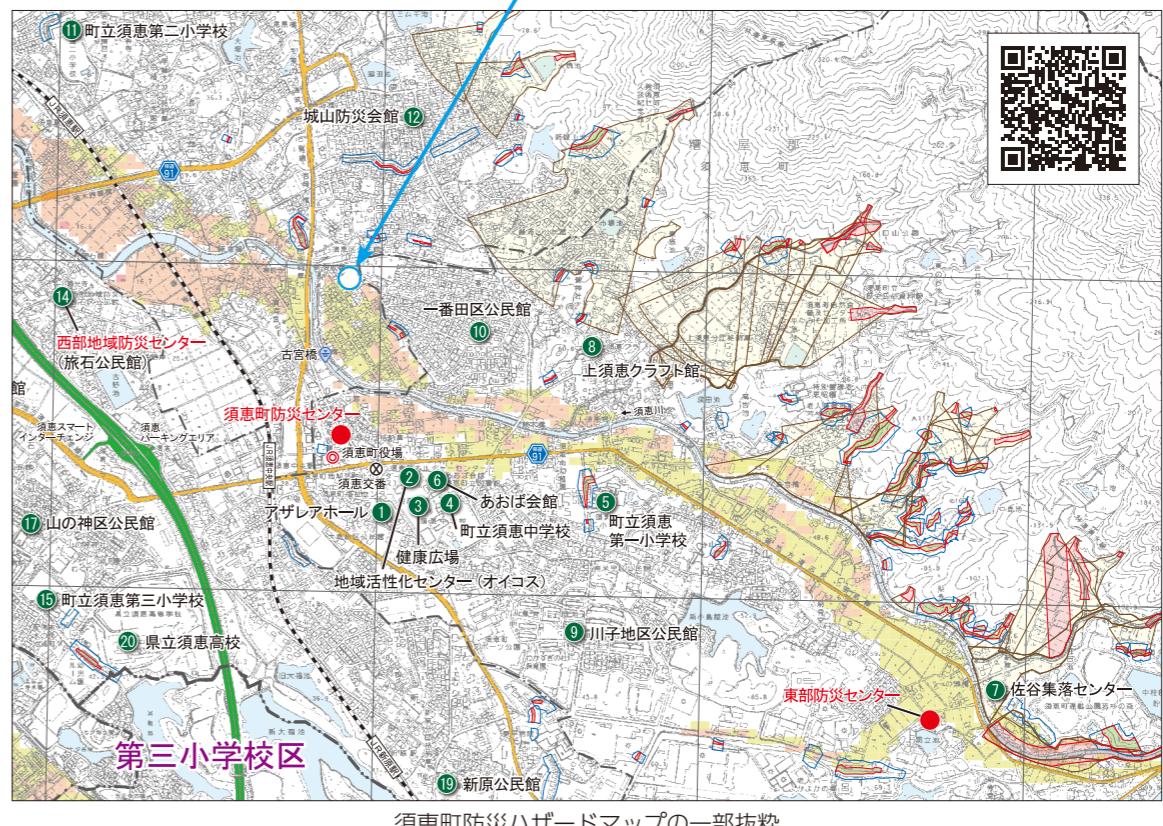
<消防団格納庫>

延べ床面積：91m²
木造2階建て

センター内には、備蓄倉庫や防災会議室なども計画され、有事の際には、町の職員が会議室内で災害対応ができるようになります。将来的には、指定避難所に指定される予定で、約170人が避難可能です。平常時と災害時の利用方法を考慮し、公民館と避難所のそれぞれの機能を兼ね備えた施設として計画されています。



建設予定地



中部防災センター（仮称）建設工事請負費
3億4199万円

防災センター兼須恵区公民館として、中部防災センター（仮称）が建設されます。同敷地内には消防団の格納庫も移設され、また一つ防災の拠点が増えることになります。

防災拠点を拡充

主賛成
可決

令和5年度一般会計補正予算
4億2945万円を増額 総額123億6993万円

専決	◇公共下水道事業特別会計 総額11億369万円 専決 (全員賛成で可決)
専決	◇国民健康保険特別会計 1億5164万円を減額 総額28億7680万円 専決 (全員賛成で可決)
専決	◇一般会計 1億1045万円を追加 総額125億5583万円 専決 (全員賛成で可決)
専決	◇令和4年度 各会計とも決算見込みによる調整です。 その他の補正予算

6月定例会 その他の議案

その他の採決結果

須恵町税条例の一部改正について	専決 (森林環境税の導入とともに個人住民税の改正、大規模改修が行われたマンションの固定資産税減額措置の創設、特定小型原付「電動キックボード」の創設やグリーン化特例延長とともに軽自動車税の改正、地方税法の改正による各条文の文言等の整理。)	全員賛成で可決
須恵町国民健康保険税条例の一部改正	専決 (後期高齢者支援金等課税額の限度額が20万円から22万円に引き上げ。また、低所得世帯への軽減判定所得基準を引き上げ、保険税軽減対象を拡充。)	全員賛成で可決
その他	（須恵町民の推戴） 中嶋裕史氏 （乙植木区・75歳） 【主な経歴】 昭和43年に須恵町に奉職。社会教育課長などを歴任し、平成13年に教育長へ就任。平成14年に初当選を果たし町長へ。4期16年もの間、行政手腕を遺憾なく発揮。在任中は、福岡県町村会副会長などの要職を務められ、地方自治の発展にも大きく貢献された。教育行政では、乳幼児保健活動の充実、幼保一元化の推進、小学校教育との連動など、地域全体で育む教育基盤を創造し充実を図られた。道路交通行政では、スマートインターチェンジの本格運用に大きく貢献。その周辺の道路整備においても、大規模商業施設の出店で利便性が向上し、人口増加につながるなど、地域経済に大きな効果をもたらした。	同意

人事案件の審議結果

須恵町固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成 稲永 幸子氏 (旅石区・71歳)
任期満了に伴い再任	
任期 令和5年7月1日～令和8年6月30日	
須恵町農業委員会委員の任命	全員賛成 同意
任期満了後の委員として次の9名を任命	
任期 令和5年7月20日～令和8年7月19日	
松崎 三角 藤石 百田 合屋 安河内 御手洗 今泉 合屋	吉成氏 (新原区・73歳) 弘氏 (旅石区・70歳) 豊氏 (須恵区・72歳) 俊弘氏 (上須恵区・71歳) 勝秀氏 (佐谷区・69歳) 久人氏 (乙植木区・67歳) 眞氏 (甲植木区・72歳) ふみ氏 (須恵区・48歳) 尚子氏 (乙植木区・40歳)

選挙管理委員会委員・補充員を选出

任期満了に伴い、指名推選により選挙管理委員会委員および補充員を选出しました。
任期 令和5年7月12日～令和9年7月11日
委 員
南里 百田 今泉 田原
國秀氏 (昭穂区・74歳) 忠一氏 (佐谷区・72歳) 洋行氏 (甲植木区・75歳) 重美氏 (大島原区・74歳)
補充員
松林 山下 黒岩 今泉
龍美氏 (旭ヶ丘区・69歳) 功氏 (新原区・72歳) 政信氏 (西原区・66歳) 英明氏 (甲植木区・59歳)



予算審査 特別委員会の質疑から

一般会計
(一部抜粋)

議長を除く議員全員(12名)で構成される予算審査特別委員会において、令和4年度および令和5年度補正予算の審議を行いました。

マイナンバーカードの交付状況は?
(令和5年度予算)

Q 住民課長
A ログアウト漏れによる別人の口座登録の事案については、本町では職員がログアウト処理を行い、そのような事がないよう努めている。家族の口座へのひもづけについては、個人がスマートフォンなどで登録しているため、町では把握ができない。誤登録が推定される場合は、直接国から通知が届くと聞いている。

個人番号カード交付事務 196万円

出産件数は?
(令和4年度予算)

Q 住民課長
A 国民健康保険加入世帯の出産件数は、令和3年度が31件で、令和4年度は15件。前年度に比べ16件減ったため、減額補正をしている。

国民健康保険出産育児一時金繰出金 減額 532万円

名譽町民推戴式の内容は?
(令和5年度予算)

Q 総務課長
A 町制施行70周年の記念行事の一環として、前町長の中嶋裕史氏を名譽町民に推戴するもので、町の公式行事として執り行つ。前回の渡辺能氏の時と同規模で、推戴式の出席者は、町民の代表として各団体の会長など、30名程度を想定している。予算は、推戴式や記章などの記念品も含め計上している。

栄典・表彰事務 268万円

価格高騰緊急支援給付金の給付状況は?
(令和5年度予算)

Q 福祉課長
A 対象世帯3473世帯に案内を送付し、そのうち申請のあった2916世帯に対し給付している。

価格高騰緊急支援給付金事務費国庫補助金返還金 159万円



稲永辰己議員

現在須恵町の各地域では、ボランティアで、登校時の見守りをされていますが、登下校時の見守りの現状は把握されていますか。

下校時の見守りについては、ボランティアでは、限界があると思います。そこで、元気な高齢者（例えば、シルバー人材センターなど）に見守り

答 吉本学校教育課長

現在、各ボラン

ティアの皆さまをはじめ、区長会や育成会およびP.T.A.が協力しながら児童生徒の安全確保に努めています。各小

学校区のコミュニティにおいても、学校支援活動の一環として長年通学

須恵町は、生涯学習の一環として小学校区ごとにコミュニティを置いています。子ど



交通量の多い通学路

一般質問

ここが聞きたい！

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることがあります。

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しております、編集は行っていません。

答弁中の平松町長



6教室分の増築を予定

問

中学校の生徒数に対して教室は足りるのか心配です。現在どのような状況なのかをお尋ねします。

また、人口増加に伴い生徒

数の増加が予想されることから、各小中学校施設の増築等、どのように考えているのかをお尋ねします。

答 吉本学校教育課長



男澤一夫議員

現在把握している開発は、須恵東中学校下の赤坂農地の開発です。住宅戸数は86戸で、小中学校の学級数への影響は、令和7年度以降になると考えています。

今後の児童生徒の増加を注視し、施設の改修や増築の検討が必要と考えており、本年度は、6教室分の増築の設計業務委託を予定しています。その増築費用の補助金申請を令和6年度に行い、令和7年度に着工でき

ればと考えています。予算計上した際は、改めてご審議をお願いします。

答 平松町長



平成26年1月に増築された校舎（第二小）



通学路の安全確保は地域の子どもは地域で守る

交通

映像配信



問

現在須恵町の各地域では、ボランティアで、登校時の見守りをされていますが、登下校時の見守りの現状は把握されていますか。

下校時の見守りについては、ボランティアでは、限界があると思います。そこで、元気な高齢者（例えば、シルバー人材センターなど）に見守り

を補つていただけるような仕組みづくりはできないでしょうか。

また、通学路における危険箇所の点検や安全対策の実施および情報の共有を図るなど、未来を担う子どもたちの命を守る対策は最優先と考えます。町長のお考えをお尋ねします。

路の安全確認および見守りなどを実施していただいている。個人でも見守り活動をされていることは知っていますが、活動人数や場所については、把握していません。

下校時の見守り活動については、地域の子どもは地域で守ることを目的として校区コミュニティでも活動されていますので、コミュニティを支援する立場上、業務委託を検討する予定はありません。

通学路の危険箇所については、毎年開催されている小学校P.T.A連絡協議会で改善要望が提出され、対応した結果などを報告し、関係団体との情報共有をしています。

もの見守りにおいても、行政を補完してもらえる対等の立場として校区コミュニティに担当していただけたらと思います。

これらの取り組みは、学校教育課、総務課、まちづくり課、教育委員会と校区コミュニティともお話をした上で、問題を共有していきたいと思います。



答弁中の平松町長

先進事例を参考に検討

問

先日行われた町議会議員選挙の投票率は36・94%となり、前回(令和元年)42・98%、(平成27年)48・1%、(平成23年)52・06%と、回を増すごとに低下の一途をたどっています。

投票率アップに向けて、どのように取り組んでいかれるのか、何かお考えはあります

か。今後の方策や学校での取り組みについてお聞きします。

また今回、選挙公報が届いていないとの苦情が寄せられていますが、どの地域の何件に届かなかつたのか、調査はされましたか。委託の契約内容などについてお尋ねします。

映像配信



今村桂子議員

答
諸石総務課長

出前授業・模擬投票をはじめとする子どもたちへの選挙についての教育は、

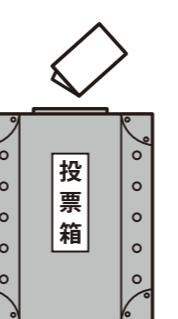
長期的には、若年層の投票率向上に繋がるものと考えられますので、教育委員会および町内小中学校と協議を重ねた上で、実施の可能性を探つていきたと考えます。

子ども議会の実

答
平松町長

投票率は、中選挙区から小選挙区に変わってから、日本全国で下がってきており、特に福岡県が下がっています。

なぜかというと、顔の見える



教育

本年度から特別支援教育における現状は

問

平成25年以前は、基準に該当する障がいのある子ども們が就学先は、原則特別支援学校となっていましたが、現在は、最終的には教育委員会が就学先を決定するしながらも、保護者からの意見聴取やさまざまな可能性に対しても柔軟な対応が求められていると思します。

文部科学省の学校基本調査によると、特別支援教育を受ける児童生徒が年々増加し、特に通級指導を受ける児童生徒は平成24年からの10年間で2・5倍に増えています。

障がいを持つ児童生徒に対して適切な療育がとても重要なと思います。須恵町としての見解をお伺いします。

答
吉本学校教育課長

令和5年5月1日現在で、特別支援学級について、小学校は

197人、中学校は88人です。通級学級については、小学校は63人、中学校は40人が在籍しています。通級および特別支援学級の判断基準は、指導の対象となる障がいの種類が、

答
猪股教育長

通級学級は、いずれ通常学級に戻るということが前提で、通常の授業を受けながら、いわゆる凸凹がある部分について

て指導する場所です。須恵町では、2年ごとにその成果を確認し、必要であれば継続という判断をします。

教職員の研修体制は、県が実施する特別支援教育に関するさまざまな研修があり、受講を奨励しています。町としては、本年度から特別支援相談員として、特別支援学校の校長経験者を指導主事として雇用しています。週1回各学校を午前中訪問し、授業や子どもへの指導を参観した後、資料を作成し、放課後、該当の先生を対象に研修を実施しています。

議員さんで、この人は通るだろと投票に行かない。それが年数をかけて町会議員の選挙にまで及んだということで、国が根本的に考えないと悪い事だと思います。

施については、実際の議場において、一般質問形式で意見を発表する体験を通じて、行政や議会の理解を深め、子どもたちの純粹な意見を町政運営の参考とするものであると思いますが、現在、総務課では検討していません。

特に投票率の低い年齢層に向けてピンポイントの対策が必要です。他市町村の取組み事例を参考に検討したいと思います。

選挙公報の未配布の苦情は選挙ごとに数件あっています。委託業者には配布の徹底を指示していきたいと思います。

選挙公報の未配について、実質としてそれがあるのであれば、立候補したどなたかが不利益を受けたわけですので、調査させ極力そういうことがないようにさせます。

映像配信



特集 議会×須恵レクの会 座談会

レクリエーション活動

レクの会の声を聴きました

須恵レクの会は、「レクリエーション・インストラクター養成講座」を終了後、レクリエーション公認指導者の資格を持った人たちが、レクリエーションを通じて須恵町民の健康づくり、生きがいづくり、笑顔づくりのために活動しています。「できる人が」「できる時に」「できる分だけ」無理せず力を合わせて取り組んでいます。



松山 力弥 議長



稻永 辰己 議員



田ノ上 真 議員



今村 桂子 議員



川原 幸治 議員



令和5年6月20日対談

レクリエーションで元気いっぱい 笑顔あふれる町づくり

コロナ禍で話す機会が減り、認知症が増えていました。私は70の手習いで、にわかを始めました。認知症に対する理解・普及のために「認知症啓発にわか」に取り組み、寸劇のような感じで掛け合いにわかを始めています。後継者づくりにも取り組んでいきたいです。

にわか部 部長
今村 公明 さん

「待つったよ～」「会いたかった～」と迎えてもらい、「楽しかった」「また来てね」と言ってもらえる。その言葉が聞きたくて、少し言う事をきかなくなったり身体を騙し騙しながら活動しています。若いメンバーも増え、新しい感覚やジャンルも交えながら、これからも須恵町の皆さんに笑顔を届けていきたいと思います。

会長
百田 公子 さん

世代の違う人とのふれあいが楽しいです。広報を通して休会中の会員さんに向けて「レクの会とつながっている」と伝えたくて頑張っています。「広報、待ってるよ」「読んだら元気になる」と言われると、自分が作りあげた、ささやかな広報が感謝されているんだと嬉しく思います。

広報
佐田 裕子 さん

レクの会のおかげで、子どもたちとのふれあいも増え楽しいです。幼稚園での劇でオオカミの役をしたことがあります。買い物している時にも「オオカミのおじさん」と声をかけられ、とても嬉しく励みになりました。

相談役
田仲 邦好 さん

歴史は？

■ 結成までの経過を教えてください

〈レクの会〉

須恵町社会福祉協議会が主催した「レクリエーション・インストラクター養成講座」の平成17年度修了生が平成18年3月に結成しました。平成18年、19年、22年、25年、令和4年度修了生も入会しています。

活動の目的は？

■ 活動の目的は何ですか

〈レクの会〉

レクリエーション活動を通して地域の福祉向上（介護予防・子育て支援など）を目指し、自分たちも楽しみ、地域の人たちにも喜んでいただきながら活動することを目的としています。

組織の体制は？

■ 組織の体制はどうなっていますか

〈レクの会〉

会長をはじめ、役員11名が月1回の役員会と定例会を行なっています。

■ 会員数・平均年齢を教えてください

〈レクの会〉

会員数は32名（女性26名・男性6名）です。令和4年度修了生の11人中10人の入会があり、とても嬉しく今後の活動が楽しみです。また、70歳代だった平均年齢が60歳代になり、ぐ~っと若返りました。23歳から80歳の人たちが活動しています。

活動内容は？

■ どのような活動をしていますか

〈レクの会〉

月1回の定例会と、年2回の交流会、年数回講師を招いて研修会を行なっています。平成21年から年3回の会報誌も発行しています。

〈レクの会〉

レクリエーションの依頼があると、そのたびに参加できる人を募って、リーダーを決め、プログラムを作って依頼にこたえています。

〈レクの会〉

0歳から高齢者までを対象に多様な活動を展開しています。町歌体操、脳トレ、ボッチャ、各種ゲーム、にわか、バルーンアート、クールダウン時には篠笛やオカリナの演奏も行います。

活動実績は？

■ 令和4年度の活動実績について教えてください

〈レクの会〉

活動実績52回、総活動人数216名です。

〈レクの会〉

活動は4つに分かれています。

定期依頼活動

- つくしんぼの子育て支援（月1回）
- 乙植木楽しみ会体操（月1回）
- 甲植木区チャットルーム（年数回）
- 第二小学校レククラブ（年7回）
- 子どもの居場所作り（夏休み、春休みなど）

自主活動

- あそびの日（年1回）
- 令和5年5月24日実施 南幼稚園57名（紙芝居、凧づくり、カップけん玉、バーレンロケット）

不定期依頼活動

- 各行政区ミニデイサービス（年22回程度）
- 中高生福祉体験学習
- シニアクラブなどからの依頼

コミュニティ活動

- 第一小学校すこやか秋祭りに参加など

課題・要望は？

■ 活動するにあたり、課題や要望はありますか

〈レクの会〉

高齢化と男性が少ないのが問題でしたが、令和4年度のインストラクター養成講座の修了生の入会で男性も3名増え、高齢化にも少し歯止めがかかりました。今後もレクの会が発展して活動していくよう年に数年ごとにインストラクター養成講座を開催してほしいです。

レクリエーション・インストラクター養成講座について教えてください

〈レクの会〉

社会福祉協議会の主催・福岡県レクリエーション協会の協力で開催され、募集が行われます。約8ヶ月間30回60時間の講座を受講し、終了後は修了証の授与、（公財）日本レクリエーション協会の公認指導者資格の申請ができます。

レクリエーションの輪を

レクの会の皆さんには、須恵町のレクリエーション活動をリードし、ミニデイサービス・子育て支援・各区や町の行事などにご協力いただき感謝いたします。今後も、健康・生きがいづくりの支援者として、活動の輪をレクリエーションで広げてくださることを期待しています。

議長通信



松山 力弥 議長

新たな体制となって

令和5年4月の統一地方選挙後、初めての定例議会が開催されました。

2名の新人議員が加わった新たな13人の議員で構成される議会がスタートしました。

提出された議案を付託される2つの常任委員会のメンバーも一新され、新たな視点での議案審議が行われました。

今回の定例議会は、令和4年度の各会計の補正予算および条例の一部改正の専決処分(町長が法律の規定により議会に諮る前に決定する行為)の承認と人事案件の同意が主な議案でした。特に、前町長中嶋裕史氏の名誉町民の推戴

については、町制70周年に当たり歴代の町長を代表する同氏の功績を称えることに、議

会としても大変嬉しく思います。

また、私事ではありますが、前期に引き続き、議員各位のご推挙により、議長に就任することになりました。これから4年間、この「議会だより」を通じて、議長として私の思いや考えをご報告できればと思います。ご覧いただければ幸いです。

すま子未来ちゃん



第1回 臨時会 | 4月24日 (月)

●令和5年度一般会計補正予算

1億5048万円を追加 ⇒ 総額119億4048万円

- 低所得世帯支援給付金事業 1億683万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金事業 4365万円



第3回 臨時会 | 7月7日 (金)

●工事請負契約の締結

須恵第一小学校長寿命化改良工事(第1期)
請負金: 2億6323万円
工 期: 令和5年10月31日まで

本会議傍聴
のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される人は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

次の定例議会は
9月1日からの予定です。

本会議を/
ホームページで
公開しています!

映像配信



会議録



特別

委員会レポート | 校区活性化推進特別委員会

校区コミュニティの
成り立ち

須恵町は、教育コミュニティを推奨し、小学校ごとにコミュニティ事務局を設置し、教育と地域の連携で豊かな教育環境をつくり、独立性を發揮してきました。近年は、教育コミュニティからくらしのコミュニティへの転換を模索しています。

くらしのコミュニティ
モデル事業

第三小学校区ふれあいラインボーニティモデル事業に取り組んでいます。多種多様な地域課題を解消するため、地域と密着した活動を展開し、シビックプライド「地域に対する住民の誇り」の醸成を図ることを目的

委員長 川口 満浩	委員 委員 田ノ上 真
副委員長 平山 諭	猪谷 繁幸

校区活性化推進特別委員会は、須恵町が進めるコミュニティ事業について調査研究を行つもので、1回目の調査を6月28日(水)に行いました。

としています。

医療・介護と地域社会の連携、

自主防災組織との連携、環境ボラ

ンティア、軽スポーツの普及など

に取り組んでいます。チラシやポ

スター、SNSでの周知が進み、

徐々に輪が広がっています。

くらしのコミュニティ事業を推奨するには、地域住民のつながり、仲間意識、人々の参画、地元への愛の拡大を図っていただきたいものであります。くらしのコミュニティを取り巻く状況は違います。コミュニティの独自性を生かした取り組みで事業の拡大を図っていただきたいものであります。

議員研修レポート



議会用語とハラスメント

須恵町議会は、議員力向上のため積極的に講師を招いて研修を行っています。4月の改選で新人が誕生していることから、6月28日(水)庁舎内で2件の基礎研修を行いました。

第1研修「議会用語の解説」

法律と条例の違いは、議員になる人は皆知っています。では、政令・省令・告示の違いは? 通達は? 他にも規則・要綱・要領等々、決め事を指す用語だけでもたくさんあります。また一歩進んで、条例の改正の時の用語など、だいたい分かっていることを、ちゃんとした知識にするために、講師に解説を受けました。

第2研修「政治分野におけるハラスメントの防止」

政治の世界はハラスメントが多いイメージを持たれていますが、ここでは、内閣府男女共同参画局が製作した映像と冊子で研修しました。同局が、地方議員を対象に、政治参画を阻む要因を調査した結果、

全体の42.3%、男性の32.5%、女性の57.6%がいずれかのハラスメントを受けたと回答しています。映像は、集められた1324件の事例を元にパターン別の再現ドラマにしています。ハラスメントがいかに醜いものかよく分かります。

議員は、自分であっても他人であっても、ハラスメントに声をあげる一人になる、ということが大切です。



議員研修の様子